

# KEN TIMES

2021年 6月号

## ◆潮湯治。



海に浸かっていると、身体の調子がすこぶる良いのです。筋肉の凝りは解れ、塩の効果か、肌の状態（僕は乾燥肌なので）はその後数日間も良い状態で保たれ…何より精神がリセットされる気がします。この時期は午前2時に起き、野沢を出発、4時から海に入り始めます。日の出前の海の美しさ—それを表現する技量を僕は持ち合わせておりません。何も考えず、ただひたすら空を見上げて海に浮かんでいるのは…なんとも贅沢な時間です。

## ◆「のびろ」と「北光」

実に親孝行な息子が、こども園のお散歩で「のびろ」を採ってきてくれました。味噌をつけて、一口齧ってはその余韻で地酒を口に含む…。こういうのを、我々人類は「幸せ」と言います。ヨウ、また採ってきてな。



今月のインタビューは、タイ料理「クアタイ」の市川良樹君

史さん だぜい。



## ◆田園チャリ部。

お酒と「少々の」サイクリングを愛する人々からお誘いいただき、飯山駅前「おんと」までペダルを漕いできました。スキー場のシュネーに集合し、朝のコーヒーをいただき…いざ出発です。千曲川を撫でる初夏の風を浴びながら湯滝橋を渡り、お喋りしながら川沿いを走り…(ゆるいサイクリングだな〜笑)田園風景の広がる照里を抜け、長嶺公園経由で到着です。僕は一滴の汗もかかず、一度も息が上がりませんでした。なぜならそれはe-bike(電動アシスト付き自転車)だから。おんとさんと美人女将・絵美さんの美味しい料理をいただき、とても楽しく、気分の良いひと時でした。帰りも、アナログバイクの先輩に「交換しろ」と言われ続けましたが、全て無視。かんがら坂をスイスイと登らせていただきました。夕方には、でんべえさんの素晴らしいお風呂もいただき、それはそれは最高の1日でした。



◆近所の川で。

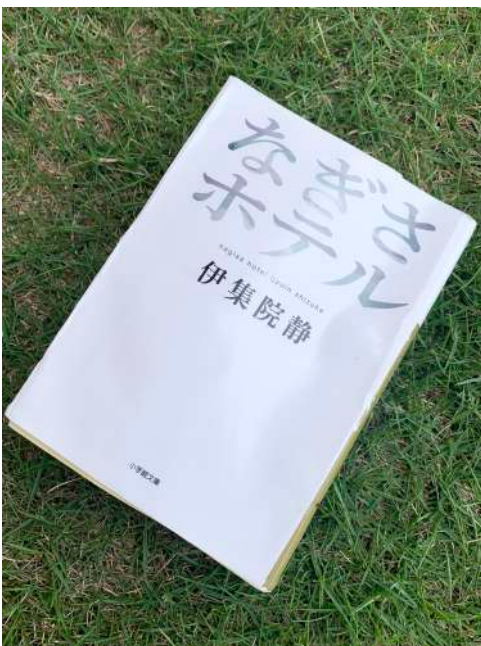


4月号にインタビューした、同級生の亮一君との話を思い出し、息子と近所の川へ糸を垂らしに行ってきました。何に苦労したかと言うと、「ミミズ探し」です。初めて川へ行く息子には、何とか釣果を与えたいと思いますので、イキの

いいミミズに任せるのです。しかし、探そうとすると、これがまた見つからないものなんですよ。ようやくミミズが取れ始めた頃には、息子の目的はミミズ取りに変わってるわけです。「おいトト〜！キングミミズ、見つけたぞ〜！」なんて言いながら。川では、事前にこっそり良いポイントが無いかと目をつけていたので、すぐに竿がブルブルと震えました。親父としては正直ホッとしますね。見てよ、息子のこの顔！

◆これはいい本だったなあ。

「あんまり考えない方がいい。なるようにしかならないのものです。無理にそうしなくとも、何かになる時は、むこうからやって来るもんです。あなたには、その方がいい」



私はI支配人の顔を見た。支配人は目を細めて、秋にむかう海と空を見ていた—

強く何かを訴えかけてくるというより、静かにゆっくり、そして大きく心を動かしてくれる作品であった気がします。とてもいい本です。

◆高山村の素敵な時間。

こ、これが本物の生ハムか…！ゴールデンウィークにO社長ご夫妻にお誘いいただき、高山村の佐藤さんのところへおじゃまして来ました。眼下にブドウ畑の広がる、天国のようなロケーションで、素晴らしく美味しい（もっと適切な表現がこの世にあれば…）ワインやジビエをいただいて来ました。中でも、特に衝撃だったのは佐藤さんお手製の「生ハム」です。いや、これは生ハムという概念を全くもって変えてしまう「作品」ですね。スライスしている時からブワ〜と、しっかり熟成された香りが鼻をつき、口に入れば、ほんの少量でグラス一杯のワインを空にしてしまうほどの威力を持っています。昼から夕陽が落ちるまで、ゆっくりと時の流れを感じながら…本当に素敵な時間です。子ども達も大喜びでした。O社長、Mさん、佐藤さん、おかげさまで最高の連休になりました。間違いなくまた来ます。



### ◆うちのルッコラ。



**家**庭菜園なるものを始めてみました。庭の隅の砂利を掘り起こし、そこに妻の実家の畑からもらった土を入れて畑が完成です。とにかく手の掛からないものが一番！ということと、昨年お隣さんにいただいて非常に美味しかったので「ルッコラ」の種を植えました。3日もすると、早くも芽が出てきたことは驚きでした。その後もあつという間に芽が増えたので、まだ小さいうちに間引きしました。自分で育てた（というより植えただけであとはほったらかしです）採れたてのものはやはり格別です。オリーブオイルと醤油を垂らして食べました。とても香り高く、あの程度の労力と費用でできるのは、やけに得した気持ちになれました。いいですよ、ルッコラ。

### ◆蜜の味。

**夕**方、まだ明るい時間に息子連れて、泉質が一番好きな「滝の湯」へ入りに行きました。やはり、日が落ちる前に入るお湯は贅沢なものです。特にその日は貸切状態で、心から寛げた



気がします。温まった身体に外の爽やかな空気が気持ち良い帰り道、息子が「トトもこれ吸ってみい？」と、道端の花を手に取り、差し出してきました。子どもの頃に吸った、あの日の蜜の味がしました。

### ◆あ、みんな元気ですよ～！

**毎**号、忘れちゃうんですよ。元々は妻のお友達というお客さまが多いので、一枚は載せようと思っているのですが…なかなか撮らないものですね。笑 ですので、いつも取ってつけたような写真ですみませんね。楽しくやっているということは確かですのでご安心を。下の写真は、上二人の子が登園したあと、庭で3番目と日向ぼっこしている時のものです。芝も少しずつ青くなり始め、今、一日の中で心地よいひと時です。



### ◆こんなに簡単だったとは！

**朝**、階下から漂う焼き立てパンの香りの中で目覚める喜び…。これは大正解の買い物でしたね。「ホームベーカリー」というその名は以前から何度も聞いたことがありましたが、そうは言っても「自宅でパン」は大変だろ？と今まで見向きもしなかったのです。ところが簡単もカンタン、まさか材料を入れてスイッチを押すだけとは！その素晴らしさを誰かに伝えるよりも簡単なことでした。そこに新鮮な野菜たっぷり、挽きたてのコーヒーと一緒に並べば、有無を言わず最高の一日の始まりです。





# 滑べる、保険屋 河野 謙

Kono Ken



## 河野 謙 (こうのけん)

- 1987年7月10日生まれ(卯年・かに座)
- ファイナンシャルプランナー
- 双子(弟は連)
- A型
- 三児の父(長男:2016.7/長女:2018.12/次男:2020.10)
- サイグラム/M10
- 動物占い/感情的なライオン・ゴールド
- 野沢温泉村在住(横落のFujiyoshi. ずっと地元民)



### 【学 校】

- 野沢温泉小学校
- 野沢温泉中学校
- 飯山北高等学校
- 立命館大学(経済学部・国際経済学科) ずっとスキー部(アルペン)

### 【性 格】

**楽観主義者。**過ぎる時もあるぐらいだが、小さい時からそうだったわけではない。大学ぐらいから海外に行ったり、色んな友達と付き合いの中でそうなっていったと思う。**判断は早い方。**ただし、睡眠不足に陥るとあらゆる面でうまくいなくなってしまう。

### 好きな作家

- スキー・スノーボード。シーズン中は週2ぐらいのペース。
- サーフィン。直江津がメイン。力強いハワイの波が忘れられない。
- 中学校の時は北竜湖でヘラブナを釣ることが何よりの楽しみだった。現在は溪流釣り。
- ゴルフは年に1、2回だったが、現在猛練習中。
- サウナ。ちょっと行かないと禁断症状が出る。基本は木島平パノラマランド
- 飲酒はほぼ毎日。夕飯時には欠かせない。(ビール、日本酒、ワイン、ウイスキー)
- 昼寝もほぼ毎日。だいたい1時間ぐらいは眠る。比較的早起き。
- 26歳から、お祭りで猿田彦の笛をやっている。
- 消防団員。第一分団第二動力班



### 好きな作家

村上春樹、サリンジャー、浅田次郎、野田知佑、椎名誠、伊集院静など。特に村上春樹は相当の回数読んでいる作品が多い。

### 好きな音楽

特に好きなものは90年代日本語ラップ。「BUDDHA BRAND」「キエるマキユウ」に関しては博士。ユーミン、Hi-Fi Set、ビートルズ他、ジャズもクラシックも好き。



BUDDHA BRAND

### 好きな言葉

「天運我に有り」  
「時間はたっぷりある」  
(これが最高の贅沢。口に出すと、心に余裕が持てる)  
「ありがとう」

## 仕事の変遷

スキーだけやっていた大学生活だったので、当時「こんな仕事かしたい！」というものがなく(スキーで稼いでいくほどの実力も自信もなかった)、4年のゴールデンウィーク頃から就活をスタート。

その頃、株やFXをやっていたということもあり「なんとなく金融が面白そうかな」という思いと、長野県出身のスキー部の先輩が、卒業後そこで活躍していることを知っていたので、地元の金融機関である「株式会社 長野銀行」に入行。

入行後一年は、掃除、雪かきの毎日。ちょっと退屈だったが、雪かきに関しては豪雪地帯・野沢温泉出身の実力をここぞとばかりに発揮し、銀行の敷地内だけでは物足りず、勝手に近所の商店の雪かきまでしていた。

そして楽しくお茶をいただき、預金までしてもらっていた。お客さんと心が通じる、「河野君だから」で任せてもらう。これが営業か……と、その時に思った。

2年目からは松本の支店で営業係。預金・住宅ローン・投資信託・保険を主に販売。最初はどのようにしていいかわからず、お客さんの家でお茶をもらってばかりいたが、ある日突然自分の中で「何か」が解り、そこからは営業が楽しくて仕方なくなった。

お客さんは「その先に何を求めているか。」これが本質。

2014年(銀行4年目26歳の時)長野銀行出身の、尊敬する先輩に声をかけてもらったことがきっかけで、現在の会社に転職。ずっと地元だけで仕事ができる。本当に自分が好きで、お客さんにとって100%いいものだけを案内できるということが最大の魅力だった。

現在は「KEN TIMES」も発行。地元の事業主のインタビュー、お得な金融情報、日々の日記を掲載している。お客さん同士が繋がりが、地元がどんどん盛り上がっていくことが何よりの喜び。



# -4・5月のお客さまより-

## 【「見直し」のお客さま】

保険を見直したいと思うのでた所に、とてもわかりやすく説明して頂きました。また他の事も色々情報をお持ちなので今後とも色々ご相談させていただきます。(野沢温泉村 40代 自営業)

子供の保険を掛けていましたが内容が分からず掛けていましたが親切でわかりやすく教えていただき大変ありがとうございました。

野沢温泉村 60代 女性

子供達が成人して、保険料などこのままだと流石の位悩んでいました。

河野さんにご相談したら、すぐに対応して下さり、ご丁寧に説明と納得でき

契約になり助かりました。ありがとうございました。

(長野市 40代 女性)

保険は全くわからない事ばかりで、おまじく簡単にわかりやすく説明して頂き良かったです。今後とも色々ご相談して損のない様に計画立てていただきたいと思います。(野沢温泉村 40代 女性)

60才を前に、保険を見直したかったのですが、3年かけて、やっと自分の保険を見てくださる人に、出会いました。ありがとうございます。クレジットカードを通じてお支払い。(野沢温泉村 60才すぎ 女性)

急な帝王切開になったけど、女性疾病の保険に入っていたため保険が倍に増えてとても助かりました。何かあるかわからない妊娠、女性疾病の保険に入っていると安心です!!(野沢温泉村 30代 主婦)

## 【「増やしたい!」のお客さま】

今まで資産運用について、無知でしたが、お話がわかりやすく、将来の不安(教育費・老後資金についての)がなくなりました。ふるさと納税のシミュレーションもやっていただき、おまじく得出来ました!(飯山市 30代 妻)

10代で忙しい時ですが、いろいろ教えてくださりありがとうございます。毎日がバリエーション!!

(野沢温泉村 30代 母)

手書きのノウハウも作っていただき、正直保険の運用は無関心でしたが、とてもわかりやすかったです。自分にとってメリットがあると思うので見直しの提案いただき、ありがとうございました。(野沢温泉村 豊郷 30代)

人柄が安心 (野沢温泉村 豊郷 60代)

おと 貯金を増やしたいと考えていたところ、河野謙 さんよりアドバイスいただき、検討することにしました。とても詳しく説明していただき、ありがとうございました。ありがとうございます。(長野市 50代 女性)

学費保険についてお金の使い方、とてもわかりやすく説明頂きありがとうございます。25年後楽しみです。(野沢温泉村 30代 自営業)

## 【「自動車保険」のお客さま】

自動車保険で、日常の生活での賠償も対応してもらえるという、掛け金のほうが大変助かりました。

(野沢温泉村 自営業 60代 男)

女性疾病の保険は最初に入らなくていいと思っていたが、たまたまあるかという話になり加入してしまいましたが、2人目の子どもが学位胎盤早期剥離になり一歩はやく産まれた事により緊急帝王切開になり2人目の子どもが保険に入っていたので、その点は入っていたおかげで安心しました。2人目の子どもも将来の事を考えると、かりの件には、(野沢温泉 30代 男性) になりました。

【連絡先】 河野謙(こうのけん)

住所: 下高井郡野沢温泉村豊郷9829

(横落・Fujiyoshi)

携帯: 080-1294-5162

メール: [suberu-hoken@konoken.com](mailto:suberu-hoken@konoken.com)

その他 [LINE](#)、[facebook](#)のMessengerもご利用ください。



ホームページに色々書いています。  
<https://konoken.com>

河野謙HP



LINE

